

2024 年度 日本臨床検査医学会 第 2 回理事会（理事総会）議事録

日時：2024 年 7 月 13 日（土）14：00～17：00

開催方法：現地と Web（Zoom）のハイブリッド開催

出席（事務所）：大西宏明理事長、柳原克紀副理事長、吉田博会計理事、森兼啓太総務理事
諏訪部章、山田俊幸 各監事

出席（Web）：堀田多恵子、松下一之、松下弘道、増田亜希子、井上克枝、上原剛、下澤達雄、山崎正晴 各理事
高橋聡、志村浩己、中山智祥、伊藤弘康、末廣寛、橋口照人 各支部理事（以上 20 名）

連絡委員：村上正巳 日本臨床検査振興協議会：理事長

谷直人 日本臨床検査専門医会：理事長、日本臨床検査同学院：副理事長

高橋 聡 日本医療検査科学会：理事長

植田 成 日本臨床検査標準協議会：事務局長（以上 4 名）

欠席：長尾美紀 支部理事（以上 1 名）

I 開会、理事長挨拶（大西宏明 理事長）

冒頭、挨拶があり、過半数の理事が出席していることを確認し開催要件を満たしていることが告げられ理事会（理事総会）を開始した。

1. 支部報告

各支部報告の 2024～2025 年度の支部例会・総会の開催報告と予定、支部所属の人事変更等について報告された。

2. 各種委員会報告

1) 編集委員会（吉田博 担当理事、下澤達雄 委員長）

Laboratory Medicine International (LMI)2 巻 4 号（12 月）3 巻 1 号（3 月）、2 号（6 月）を発刊したこと、LMI 専用 WEB ページを作成中であること、投稿システム ScholarOne Manuscripts の操作手順マニュアルを作成したこと、国内誌と LMI の投稿論文の論文審査について検討を行ったこと、国内誌向けのシステム運用開始にあたりプロトタイプテストを行い改善を行っていること、トピックスを立案したこと、優秀論文賞の審査中であること等が報告された。

2) 標準化委員会（増田亜希子 担当理事）

C ペプチド測定試薬の標準化に向けて、浜松医科大学の山下計太副委員長を中心に浜松医科大学で多施設共同研究の倫理申請が承認され、標準化作業が進行していること、企業から新規に開発した TSH 測定試薬と FT4 測定試薬の標準化への質問、臨床判断値と基準範囲の設定についての質問があり、回答案を作成し常任理事会に報告したことが報告された。

3) 精度管理委員会（大西宏明 理事長）

CAP 国際臨床検査成績評価プログラム中間報告：本年度の申込み（5 月 31 日時点）は、134 施設（新規 6 施設、中止 35 施設）。中止した施設の多くが、前年に同じく COV2 サーベイ参加施設であり、他団体の 4 サーベイに参加すること、新型コロナウイルスが 5 類感染症に分類されたため検査自体が減ったことが挙げられること、臨床検査室グローバルニュースは季刊誌として年 4 回発行しており、引き続き、記事の確認、英文翻訳の校閲を行っていることが報告された。

4) 倫理委員会（柳原克紀 担当理事）

第 71 回学術集会で 2 講演会を企画していることが報告された。

5) ガイドライン作成委員会（吉田博 担当理事）

2024・2025 年度ガイドライン作成委員会委員構成、臨床検査のガイドライン JSLM2024 の原稿入手、校正など

の進行状況、発刊は2024年9月予定であることが報告された。

6) 臨床検査室医療評価委員会（松下弘道 委員長）

日本医学会連合高橋班（旧門田班）（臨床内科グループ）からの依頼で、2023年11-12月に実施したアンケート調査「ポストパンデミックの臨床検査体制」について第71回学術集会で一般演題として発表予定であること、2022年度、2023年度に行なった高橋班のアンケート調査は、2論文にまとめる予定であることが報告された。

7) 医療安全委員会（森兼啓太 担当理事）

2024年11月の第71回学術集会で実施する委員会企画セッション（パニック値と医療安全）の内容を検討していることが報告された。チーム医療委員会でもパニック値に関する内容を企画しているため、内容が重複しないよう調整して欲しいと意見があった。

8) ワークライフバランス委員会（松下弘道 担当理事）

臨床検査専門医取得に関するサポートセンター活動を継続していること、2024年7月28日（日）、第1回 医学生・研修医のための臨床検査セミナー（主催：ワークライフバランス委員会、九州支部、共催：教育委員会、日本臨床検査専門医会、日本医師会）をWeb開催すること、第71回学術集会でライフイベントと仕事に関するシンポジウムと検査医対面懇親会を企画、準備中であることが報告された。

9) 統合システムに基づく臨床検査のあり方委員会（大西宏明 理事長）

6月6日（木）開催の生活習慣病関連9臨床団体拡大会議に湯地委員長が、標準規格HL7 FHIRに関する日本医療情報学会 NeXEHRs 課題研究会に堀田理事・湯地委員長が参加したこと、11月30日（土）、第71回学術集会で委員会企画「医療DXと臨床検査(仮題)」を開催予定であること、また、第71回学術集會中に第1回委員会を開催予定であることが報告された。

10) 感染症に関する委員会（森兼啓太 担当理事、柳原克紀 委員長）

5月29日（水）、委員会を開催した。今後の感染症検査の方向性を示すことを目的として、他学会や他委員会との連携、教育的活動：「検査医学」のアップデート、卒前・卒後教育、保険制度・診療報酬における問題点の抽出と働きかけ、遺伝子検査の有用性の啓発、医師に対する検査計画の適切性の教育・啓発活動、微生物検査の貢献をアピールし、プレゼンスを高める（学会内外）精度管理事業、様々な資料の取りまとめなどの活動方針が報告された。

11) 遺伝子検査認定医・専門医に関するアドホック委員会（松下弘道 担当理事）

遺伝子関連認定医・専門医の到達目標、カリキュラム等に関する協議、認定医受験に必要なオンライン教育コンテンツ（講演、確認テスト）の準備、過去に配信された関連する講演からの教育コンテンツの選定、本認定医・専門医認定に関する他学会等との意見交換・調整に関することが報告された。

12) 広報委員会（下澤達雄 担当理事）

学会ホームページのトップ画像にX（旧Twitter）、Instagramなどを掲載し変更したことが報告され、学会からのメール配信時にSNS情報を付加することが提案され、認められた。

3. 第70回学術集会報告（長崎2023/11/16(木)～11/19(日)、柳原克紀 会長）

2023年11月16日（木）～19日（日）に、出島メッセにおいて、柳原克紀会長（長崎大）のもと、メインテーマ：「未来を見据えた臨床検査～次なるステージへの課題と挑戦～」をテーマとして開催された第70回学術集会より会計報告が提示され、収支差額の約440万円を当学会へ送金完了したことが報告された。

理事より、非会員の参加費収入について内訳を調べて、当学会入会の勧誘等を検討する提案があった。

4. 第71回学術集会報告（大阪 2024/11/28(木)～12/1(日)、日野雅之会長）（大西宏明 理事長、森兼啓太 総務理事）

2024年11月28日(木)～12月1日(日)に、大阪国際会議場（グランキューブ大阪：大阪）において、日野雅之会長（大阪公立大）のもと開催予定であり、稲葉亨副大会長（京都府立医大）、中前美佳事務局長、運営事務局：(株) サンプラネットメディカルコンベンション事業部が担当すること、現時点のプログラムは、シンポジウム14、スポンサードシンポジウム1、委員会企画8、POCセミナー1、Catch up セミナー3、RCPC 2、特別講演2、教育講演8、会長講演、基本セミナー（仮題）、日本医学会連合加盟学会連携フォーラム（日本医真菌学会、日本感染症学会）、ICD 講習会、演題応募状況は、一般演題（口演：150題、ポスター：27題、その他：36題、共催セミナー（ランチオンセミナー14、コーヒープレイクセミナー4）を予定していること、演題募集の際、倫理審査について、後方視的研究（レトロスペクティブスタディ）も施設倫理委員会の審査は不要と取れる表現であったため訂正したこと等が報告された。

5. 第72回学術集会報告（千葉 2025/8/28(木)～8/31(日)、大西宏明 会長）

2025年8月28日(木)～31日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、大西宏明会長（杏林大）のもと開催予定であり、安戸裕貴副大会長、宮城博幸事務局長、運営事務局は(株) サンプラネットメディカルコンベンションが担当し、現地と一部オンデマンド配信を予定していること、開催時期が8月下旬であるため、演題募集期間は2025年2月13日(木)～3月13日(木)を予定していることが報告された。また、各賞受賞候補者募集、評議員、名誉会員、功労会員候補者推薦時期の繰り上げなど、前倒しの必要があるため協力依頼がなされた。

6. 第73回学術集会報告（千葉 2026/12/17(木)～12/20(日)、吉田博 会長）

2026年12月17日(木)～20日(日)、千葉県幕張メッセにおいて、吉田博会長（慈恵医大）のもと、開催予定であり、越智小枝副大会長、政木隆博事務局長、運営事務局は(株) サンプラネットメディカルコンベンションが担当することが報告された。

7. 関連団体報告（大西宏明 理事長）

1) 日本臨床検査専門医会報告（久谷直人 日本臨床検査専門医会 理事長）

2023年度事業報告として会議、年次大会、セミナー、その他活動等、2024年度事業計画として理事会、総会、6月29～30日に和歌山で開催された第3回年次大会、7月に臨床検査振興セミナー、11月に全国検査と健康展、臨時社員総会、講演会、2025・2026年度役員選挙、2025年3月に理事会を予定していることが報告された。

2) 日本臨床検査同学院（久谷直人 日本臨床検査同学院 副理事長）

2023年度の一般臨床検査士資格認定試験、二級・緊急臨床検査士資格認定試験、遺伝子分析科学認定士資格認定試験、POCT測定認定士資格認定試験の結果、また、2024年度の同内容の予定、第39回「緒方富雄賞」として小野佳一氏（東京大）、谷田部陽子氏（慶應義塾大）が受賞したこと、現在、第40回「緒方富雄賞」の推薦を受け付け中であること、第71回日本臨床検査医学会学術集会で共催シンポジウムとして「ゲノム医療業務に遺伝子・染色体検査関連の専門資格を活かす」を企画していることが報告された。

3) 日本臨床検査標準協議会（植田成 日本臨床検査標準協議会 事務局長）

令和6年度事業計画（2024/4/1～2025/3/31）、各種委員会活動予定、JCCLS/JACRI標準化事業、厚生労働省及び経済産業省との関係強化、小規模検査施設の外部精度管理調査事業の推進、経産省再委託事業 ISO/TC212活動、6月開催の令和6年度学術集会/JCCLSシンポジウム、7月・10月末発行予定の会誌39巻1号等について報告された。

4) 日本医療検査科学会（高橋聡 日本医療検査科学会 理事長）

各種会議予定（理事会、委員会、社員総会、総会）、2024年4月14日(日)に第38回春季セミナー（大川龍之介例会長：東京医科歯科大）を金沢市民文化ホールで開催したこと、2024年10月4日(金)～6日(日)に第56回大会（同時開催：展示会 JACLaS EXPO 2024）（橋口照人大会長：鹿児島大）をパシフィコ横浜で開催予

定であること、各種委員会活動、医療検査と自動化（日本医療検査科学会誌 49 巻 1～5 号）、補冊（科学技術委員会）1 巻を発行予定であること、継続事業の POC セミナー、新規事業の MALDI-TOF MS による細菌同定の外部精度管理調査等について報告された。

5) 日本臨床検査振興協議会（村上正巳 臨床検査振興協議会 理事長）

2023 年度の委員会報告（診療報酬委員会、医療政策委員会、大規模災害対策委員会、広報委員会、将来ビジョン検討委員会、新規：LDT に関するワーキンググループ）がなされた。そして、2024 年度役員体制、会議予定、委員会活動予定が報告された。

6) 第 33 回世界病理学・臨床検査医学会議 (WASPaLM)（トルコ；アンタルヤ 2024/10/16(水)～10/20(日)）（村上正巳 WASPaLM 前会長）

10 月 16 日（水）～20 日（日）に、トルコのアンタルヤで第 33 回世界病理学・臨床検査医学会議が開催予定。日本臨床検査医学会のシンポジウムは 10 月 17 日（木）16～17 時に、タイトル（仮）「Novel Perspective and Recent Progress in Laboratory Medicine」として、村上正巳（群馬大）、下澤達雄（国際医療福祉大）、松下一之（千葉大）、右田王介（聖マリアンナ医大）、石毛信之（東京都予防医学協会）各先生が参加予定であることが報告された。

7) 第 18 回アジア臨床病理・臨床検査医学会 (ASCPaLM)（韓国；ソウル 2024/9/25（水）～27（金））（大西宏明 理事長）

2024 年 9 月 25 日（水）～27 日（金）に韓国のソウルで、第 18 回アジア臨床病理・臨床検査医学会が LMCE 2024, KSLM 65th Annual Meeting と同時開催予定。当学会から、柳原克紀（長崎大）、金子誠（三井記念病院）、大塚弘毅（杏林大）がシンポジストとして参加予定であることが報告された。

8. 本学会からの関連団体派遣委員について（更新）（森兼啓太 総務理事）

2024/3/30 以降に推薦した関連学会、団体への派遣委員が報告された。

9. 認定試験について（大西宏明 理事長）

1) 第 4 回機構専門医・第 41 回臨床検査専門医認定試験（東京 2024/8/4(日)、蔵野信 実行委員長）

2024 年 8 月 4 日（日）に、東京大学医学部附属病院にて実施予定であること、学会初回受験者 1 名、機構専門医受験者 13 名、再試験受験者（科目受験）2 名、合計 16 名、また、学会専門医更新資格復活のための受験者 1 名が受験予定であることが報告された。

2) 第 16 回臨床検査管理医講習・認定試験（東京 2024/9/15(日)、金子誠 実行委員長）

2024 年 9 月 15 日（日）に、三井記念病院にて実施予定であり、受験者 40 名が受験予定であることが報告された。

10. 厚労省事業（体外診断用医薬品の臨床性能試験の実施基準策定）について（大西宏明 理事長）

標記事業の協力依頼があり、当学会から古川泰司（帝京大）、堀田多恵子（九州大）各先生を推薦したことが報告された。

11. その他

1) 支部関連事項について（大西宏明 理事長）

- ・支部理事と支部長は同一人物とするかについて、原則は同一人物とするが、支部の事情により別々にする場合は正当な理由が必要となることが確認された。
- ・一部の理事から意見のあった支部区分について、他学会も同じような区分のため、当面は現状維持とするが、今後、問題点をあげて継続して検討することが報告された。

2) 専門医試験血液領域実技試験で使用しているバーチャルスライドについて (吉田博 会計理事)

現在、専門医試験の血液領域の実技試験はシスメックス提供のバーチャルスライドを使用しているが、来年から使用不可となる。そのため、年間 12 万円程度経費がかかってくるが、セラビジョンシステムにより作成されたバーチャルスライドを使用していくことが報告された。

3) 第 74 回学術集会 (2027 年) 会長の推薦について (大西宏明 理事長)

第 74 回学術集会 (2027 年) 会長は、北海道支部、東北支部、中国・四国支部推薦に推薦依頼しているが、該当者があれば 9 月 20 日までに、候補者 (評議員) の所信表明、支部長からの推薦書 (A4 用紙 1 枚程度) を添えて、推薦するようリマインドがなされた。

4) 2024 年度学会賞: 功労賞・河合忠賞候補者について (大西宏明 理事長)

理事へ 7 月 30 日付で推薦依頼しており、功労賞「河合忠賞」受賞候補者に合致すると思われる適切な候補者がいれば、理由を添えて学会事務局まで連絡するようリマインドがなされた。

5) 委員会内での協議、議論、情報共有などをメールでやり取りされる場合 (大西宏明 理事長)

事務局へのメール件数が多いため、最終的に必要な内容のメール以外の委員会内での協議、情報共有などのメールの事務局への Cc は避けていただくよう要望された。

報告事項が終了したため、ここで関連団体代表の先生方には、ご退室いただいた。

III 審議事項

1. 2024・2025 年度各種委員会委員名簿について (大西宏明 理事長)

2024・2025 年度各種委員会委員名簿が提示され、承認された。

2. Subspecialty 検討委員会の委員会名称変更について (大西宏明 理事長、吉田博 委員長)

Subspecialty 検討委員会から名称変更して、サブスペシヤルティ検討委員会として、サブスペシヤルティ専門医に関するもののほか、専門医制度、管理医制度、認定制度の在り方を検討する委員会として、審議会内ではなく、学会の 1 委員会とする提案があり、その方向性が承認された。

3. 遺伝子委員会 全ゲノム解析事業に係る精度保証体制検討 WG について (大西宏明 理事長、松下一之 遺伝子委員会担当理事)

現在、厚生労働省および AMED 研究の全ゲノム解析等実行計画 (中釜班準備室) では、国内の全ゲノム解析実施体制の整備が検討されている。本学会からは、臨床・患者還元支援チーム委員として松下一之理事を推薦し、全ゲノム解析事業における精度管理体制構築についての議論に加わっている。具体的に必要な全ゲノム解析事業の精度管理体制を示すにあたり、遺伝子委員会内に本件を検討する網羅的遺伝子解析に特に造詣の深い方を委員、アドバイザーとするワーキンググループを設置したことが報告され、承認された。

4. 2024 年度国際学会奨励賞受賞候補者について (大西宏明 理事長、井上克枝 国際委員会担当理事、下澤達雄 国際委員会委員長)

2024 年度国際学会奨励賞に 9 名の応募があり、国際委員会で審査し、国際学会奨励賞受賞候補者として上位 1~3 位を選定したところ、3 名とも同じ施設だった。やや不可解な印象を与えるのではないかという意見があったが、たまたま同じ施設だったというだけで、3 名の部署、発表した国際学会、発表分野、推薦者が異なっており問題はないと合意され、上位 3 名を受賞者とする事が承認された。

5. 2024 年度各種賞の授賞者選定について (大西宏明 理事長)

当学会の賞の重複受賞に関して問題があるのではないかと理事に意見が求められたが、今後、常任理事会で再検

討して、必要があれば、あらためて比較対照できる資料を提示のうえ検討依頼することとなった。

6. 本学会試験実行委員、専門医会教育セミナーの講師に関するご意見について（大西宏明 理事長）

日本臨床検査専門医会より、当学会試験実行委員、専門医会教育セミナー講師に関しての提案があり検討されたが、専門医会、当学会それぞれで検討すべき内容との見解となった。

森兼啓太総務理事より、2024年度、2025年度の理事会と定時社員総会の予定が報告された。

【2024年度理事会日程】

第3回：2024年10月26日（土）15：00～18：00、ハイブリッド開催予定

なお、3/30の第1回理事会のときに話題となった理事懇親会を第71回学術集会の臨時社員総会後に開催予定したことが報告された。

理事会の懇親会：2024年11月28日（木）18：00～19：00、グランキューブ大阪 8F 805 予定

【2025年度 理事会・定時社員総会日程】

2025年度第1回理事会および2024年度に係わる定時社員総会：2025年3月29日（土）

VI 閉会（柳原克紀 副理事長）

柳原克紀副理事長より閉会にあたり挨拶があり本理事会は閉会された。

以上

2024年7月31日

一般社団法人日本臨床検査医学会 理事会

理事長 大西宏明 印

副理事長 柳原克紀 印

監事 諏訪部章 印

監事 山田俊幸 印